【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【公開番号】特開2002-253385(P2002-253385A)
【公開日】平成14年9月10日(2002.9.10)
【出願番号】特願2001-57984(P2001-57984)
【国際特許分類第７版】
　Ａ４７Ｃ　7/72
　Ａ４７Ｃ　1/024
　Ａ４７Ｃ　7/62
　Ｈ０４Ｒ　1/02
　Ｈ０４Ｒ　5/02
【ＦＩ】
　Ａ４７Ｃ　7/72
　Ａ４７Ｃ　1/024
　Ａ４７Ｃ　7/62　　Ｚ
　Ｈ０４Ｒ　1/02　　１０３Ｅ
　Ｈ０４Ｒ　5/02　　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成15年9月5日(2003.9.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
座部と、前記座部の後方に軸支される背もたれ部と、前記背もたれ部の傾斜角度を変化させる傾斜角度変更手段と、前記背もたれ部の傾斜角度を検出する角度検出部と、オーディオ信号を増幅しスピーカに出力する増幅部と、前記増幅部によるオーディオ信号の増幅度及び前記背もたれ部の傾斜角度を制御する指示信号を出力する操作部と、時間情報を出力する時計部と、前記角度検出部が検出した前記背もたれ部の傾斜角度と前記時計部が出力した時間情報に基づいて前記背もたれ部の傾斜角度が予め定めた角度以下の状態で予め定めた時間内に前記操作部が指示信号を出力しない場合前記増幅部によるオーディオ信号の増幅を停止する制御を行う制御部とを備えることを特徴とするスピーカ付椅子。
【請求項２】
請求項１記載のスピーカ装置であって、前記予め定めた時間を設定する時間設定部を備えることを特徴とするスピーカ付椅子。
【請求項３】
座部と、前記座部の後方に軸支される背もたれ部と、前記背もたれ部の傾斜角度を変化させる傾斜角度変更手段と、前記背もたれ部の傾斜角度を検出する角度検出部と、オーディオ信号を増幅しスピーカに出力する増幅部と、前記増幅部によるオーディオ信号の増幅度及び前記背もたれ部の傾斜角度を制御する指示信号を出力する操作部と、時間情報を出力する時計部と、第１の時間及び第２の時間を設定する時間設定部と、前記角度検出部が検出した前記背もたれ部の傾斜角度と前記時計部が出力した時間情報に基づいて前記背もたれ部の傾斜角度が予め定めた角度以下の状態で前記時間設定部により設定された第１の時間内に前記操作部が指示信号を出力しない場合前記増幅部のオーディオ信号の増幅度を減少させ始め前記時間設定部により設定された第２の時間にオーディオ信号の増幅を停止す

る制御を行う制御部とを備えることを特徴とするスピーカ付椅子。
【請求項４】
請求項３記載のスピーカ付椅子であって、
前記制御部は、前記時間設定部により設定された第１の時間からオーディオ信号の増幅度を段階的に減少させる制御をすることを特徴とするスピーカ付椅子。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
【課題を解決するための手段】
本願の請求項１記載の発明は、スピーカ付椅子において、座部と、前記座部の後方に軸支される背もたれ部と、前記背もたれ部の傾斜角度を変化させる傾斜角度変更手段と、前記背もたれ部の傾斜角度を検出する角度検出部と、オーディオ信号を増幅しスピーカに出力する増幅部と、前記増幅部によるオーディオ信号の増幅度及び前記背もたれ部の傾斜角度を制御する指示信号を出力する操作部と、時間情報を出力する時計部と、前記角度検出部が検出した前記背もたれ部の傾斜角度と前記時計部が出力した時間情報に基づいて前記背もたれ部の傾斜角度が予め定めた角度以下の状態で予め定めた時間内に前記操作部が指示信号を出力しない場合前記増幅部によるオーディオ信号の増幅を停止する制御を行う制御部とを備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
本願の請求項２記載の発明は、請求項１記載のスピーカ装置であって、前記予め定めた時間を設定する時間設定部を備えることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本願の請求項３記載の発明は、スピーカ付椅子において、座部と、前記座部の後方に軸支される背もたれ部と、前記背もたれ部の傾斜角度を変化させる傾斜角度変更手段と、前記背もたれ部の傾斜角度を検出する角度検出部と、オーディオ信号を増幅しスピーカに出力する増幅部と、前記増幅部によるオーディオ信号の増幅度及び前記背もたれ部の傾斜角度を制御する指示信号を出力する操作部と、時間情報を出力する時計部と、第１の時間及び第２の時間を設定する時間設定部と、前記角度検出部が検出した前記背もたれ部の傾斜角度と前記時計部が出力した時間情報に基づいて前記背もたれ部の傾斜角度が予め定めた角度以下の状態で前記時間設定部により設定された第１の時間内に前記操作部が指示信号を出力しない場合前記増幅部のオーディオ信号の増幅度を減少させ始め前記時間設定部により設定された第２の時間にオーディオ信号の増幅を停止する制御を行う制御部とを備えることを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００１７】
本願の請求項４記載の発明は、請求項３記載のスピーカ付椅子であって、前記制御部は、前記時間設定部により設定された第１の時間からオーディオ信号の増幅度を段階的に減少させる制御をすることを特徴とする。